

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、「書くこと」の正答率が全国平均よりも高く、言葉についての理解もよい。 ○国語科では、物語の内容を読み取る力もついてきている。 ○算数科では、グラフを読み取ったり、読み取ったことを基にして問題を解いたりすることができている。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、目的に応じて必要な情報を見付け、考えをまとめて書く力が不十分である。 ▲算数科では、題意が捉えられてなかったり、示された方法の解釈が不十分だったりするため、問題を正しく解くことが難しい。 ▲算数科では、考えの根拠を文章で表現することが苦手である。 	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭で、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童が多い。 ○学校のきまりを守っている児童が多い。 ○家庭での会話が長く、地域への関心が高い。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲自分の考えを進んで発表し、話合いに積極的に参加することに抵抗を感じている児童がいる。 ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする意欲が県全体に比べると少し低い。

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①落ち着いた学習環境の確立
 - ・鴨方東小生活ブランド「あいさつ」「履き物そろえ」「黙ってそうじ」「黙って集合」「ろう下歩行」の徹底
 - ・「文房具の約束」「学びの約束」による学習規律や学習習慣の定着
- ②分かる授業づくり
 - ・「めあて」「まとめ」「振り返り」のある授業
 - ・書く活動を取り入れた授業
 - ・個に応じた指導
 - ・ICTを活用した授業
- ③基礎・基本の学習内容の定着のための取組
 - ・県のたしかめテスト・トライシートでの補充学習
 - ・放課後学習
 - ・すこやかカード(生活習慣の定着)
- ④算数科を中心教科として「自分の考えをもち、伝え合う子ども」の育成
 - ・既習内容を活用して、自分の考えを図や式、言葉でノートに書くこと
 - ・目的などの条件を意識しながら自分の考えをもち、まとめること
 - ・考えの根拠をはっきりさせ、分かりやすく説明すること
 - ・ペア・グループ、全体での話合いで、自分の言葉で考えや思いを伝えること

中 学 校 区 で の 取 組

- ブロック内の各学校の研究授業・協議に相互に参加し、授業技術を研鑽すると共に、授業の進め方について情報を共有し、中学校へのスムーズな接続を図る。
- ブロック内の各学校で、中学校のテスト期間に合わせて「メディアコントロール週間」を設け、生活習慣の改善を図る。
- 家庭学習や生活目標、学校のきまり等について情報交換を行い、鴨方中学校区で一貫した教育・指導ができるようにする。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 家庭での学習時間を決め、集中して取り組めるように環境づくりや声掛け、励ましをお願いします。
- すこやかカードの項目(早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習の時間・メディアの時間・心の天気)を守ることができるように引き続きアドバイスや励ましをお願いします。
- 学校ボランティアとして、児童の学習に参加していただいたり、地域の行事に子どもたちと一緒に参加していただいたりして、子どもたちの良さや頑張りを見つけてほめてください。